

2025年7月25日

各位

JA三井リース株式会社

米国の投資運用会社 Cloud Capital が運営するデータセンター開発ファンドへの出資
～「Sustainable Evolution 2028」戦略に基づく成長領域への注力～

JA三井リース株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:新分散人、以下「JA三井リース」)は、米国の投資運用会社 Cloud Capital が運営する、データセンターの開発を目的とした投資ファンド「Cloud Capital Fund II」(以下「本ファンド」)に対し、LP 出資契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 出資の背景・目的

AI やクラウドコンピューティング、動画ストリーミングなどの急速な普及に伴い、高速かつ安定したデータ処理を担うデータセンターは、日常生活や産業活動を支える重要なインフラとしての役割を一層強めています。本ファンドは、増大するデジタルサービスの需要に応えるべく、通信遅延の低減と処理効率の向上を目的とし、米国各地で戦略的に配置されたハイパースケールテナントのネットワークを支える小型データセンターの開発・運用を推進することで、業界を牽引するテクノロジー企業のサービス品質向上と持続可能なデジタル社会の実現を支援いたします。

本ファンドを運営する Cloud Capital は約 40 億ドルの運用資産残高を持ち、グローバルなデータセンター開発・運営企業である CloudHQ と緊密な連携を取りながら、投資運用を担っています。JA三井リースは、2024 年に Cloud Capital が手がける別ファンドへの出資を通じて、データセンター分野における協業を開始いたしました。今回の出資は、長年にわたりデータセンター分野で得てきた独自の知見と調達力を活かしてきた Cloud Capital との関係性をさらに発展させるものであり、今後も信頼ある同社とのパートナー連携を通じて、成長領域での取り組みを強化してまいります。

本ファンドへの出資は、JA三井リースの中期経営計画「Sustainable Evolution 2028」において成長領域と位置付けるデジタルインフラ分野への投資を、さらに加速させるものです。JA三井リースでは、直近 5 年間でデータセンター分野において累計 2,500 億円以上となる投融資の実績があります。これまでの実績を活かし、今後も拡大が見込まれるデジタルインフラ関連プロジェクトに対して資金提供と事業支援の両面から積極的に取り組むことで、技術革新を支援するとともにより豊かな社会の実現に貢献してまいります。

2. 出資先の概要

ファンド名	Cloud Capital Fund II
管理会社	Cloud Capital
事業内容	米国におけるデータセンターの開発・運営

【関連するSDGs】



【本件に関するお問い合わせ先】

J A三井リース株式会社 経営管理部 コーポレートコミュニケーション室
電話：03-6775-3002 メール：JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp

以上